



西高 News (2学期号)

平成27年12月11日発行
西大寺高校総務課

「生徒会長挨拶」

生徒会長 2年4組 松本 衛 (上道中出身)

生徒会長になりました松本衛です。僕には生徒会で達成したい目標が二つあります。まず一つ目は、「西大寺高校を生徒全員で作っていく」というものです。僕は一年生の時、生徒会書記に立候補し、その時「西大寺高校を笑顔で卒業できる学校づくり」を約束しました。しかし、前年度の生徒会活動に携わっていくと、生徒会というものには学校を作っていく組織ではなく、生徒が学校を変えていく為の支えになる組織だということに気づかされました。生徒会はあくまでも裏方、主役は西大寺高校の生徒たち。その事を常に意識して生徒全員が学校づくりに積極的になれるような雰囲気づくりをしていきたいと思っています。

二つ目は、「ルールを守れる西高生と呼ばれること」です。本校には様々なルールがありますが、その中でも特に各イベントで生徒会が注意を呼び掛けている携帯・スマートフォンの使用に関するルールは、過去の生徒会の先輩方が勝ち取ってくれた権利を損なわないための大事なルールです。外部の方々から「今年の西高生はルールをきちんと守れる立派な高校生だ」と言われるようになり、高校を卒業した後も立派な大人として成長していきたい、そんな願いがあり二つ目の目標としました。

前期に引き続き生徒会新聞 fun を発行し、生徒はもちろん外部の方々や保護者の方々にも西大寺高校の活動に興味を持って頂けるようにしたいと考えています。僕達生徒会は母校となるこの西大寺高校をより魅力のある高校にしていくため頑張りますので、これからも皆さんの御協力と御支援をよろしくお願いします。



「生徒会副会長挨拶」

生徒会副会長 2年8組 薮井 香奈 (長船中出身)

この度、平成27年度生徒会執行委員が選出されたので紹介します。

生徒会会長 松本衛 (2-4) 副会長 薮井香奈(2-8)・田片晃基(1-3)
会計 廣江太喜 (2-3)・須々木はな (2-3) 書記 井上馨琉 (2-6)・荅口桃音 (1-8)
文化委員長 長尾実侑 (2-6) 体育委員長 岩藤光佑 (2-8) 風紀委員長 渡辺大和 (2-7)
整美委員長 居森章 (2-4) 保健委員長 目黒裕子 (2-8) 図書委員長 青梨祐佳 (2-2)
交通委員長 赤枝愛莉香 (2-2) 以上14名です。



今年度は商業科2名、普通科8名、国情科4名と各科からメンバーが集まりました。学科・学年関係なく『明るく・楽しく』活動していきたいと思っています。今年度の生徒会は前年度行っていたことを引き継ぎ、さらに、生徒会行事や日々の学校生活を充実させることとルールやマナーの徹底に力を入れていきます。生徒会室の前に投書箱を設置していますので、ぜひ、皆さんの意見を聞かせてください。まだまだ、わからないことが多く、失敗を重ねる日々ですがよりよい西大寺高校をつくっていききたいと思っています。一年間よろしくお願いします。

秋桜祭

第15回秋桜祭

【 西高の秋の桜が咲きました 】

文化委員長 2年6組 長尾 実侑 (福南中出身)

9月10日～12日の3日間、第15回秋桜祭が開催されました。

今年のテーマは、「一祭合彩秋桜祭 ～響け！輝け！僕らの青春（アオハル）～」でした。このテーマは、A～Kの8つのブロックや、生徒ひとりひとりをそれぞれの「彩」とし、それら全てが合わさって秋桜祭という一つの祭を作り上げていくという意味合いで決定されました。

皆さんもご存じのとおり、西高の行事はとても盛り上がりやすいです。個性を十分に発揮し、クラスや学年ごと、また学校全体で協力し合うことでこのような雰囲気が作り上げられているのだと思います。西高の一大イベントともいえる秋桜祭で、皆さんは「青春（アオハル）」に ride できたでしょうか。1年生は初めての秋桜祭で展示をクラス一丸となって作成し、春季の球技大会からより絆を深めることができたでしょうか。2年生は有志団体の思わず聴き惚れてしまうバンド演奏やカッコいいダンスを見ることができたと思います。3年生は最後の秋桜祭。最高学年として1・2年生を引っ張り、悔いのない3日間を送れたでしょうか。

今年の全校制作は、文化委員を中心に秋桜祭のシンボルでもあるコスモスの花を全校生徒と先生方の手形で表現しました。最初は無地の白い大きな紙がだんだんと8色の大きな花びらの色を付けていく光景と、中庭の渡り廊下にかけてられた完成した大きなコスモスを見てさらに感動しました。小さなものを大きなものにするのは大変ですが、みんなの力を合わせると素晴らしいものが出来上がります。こういった経験を、これから日々の学校生活に活かしていきたいと思っています。



秋季球技大会

体育委員長 2年8組 岩藤 光佑 (高島中出身)

今回の球技大会は、10月29日(木)に開催されました。種目は昨年と同様、サッカー、バレーボール、バスケットボール、卓球、ソフトテニスの5種目を実施しました。開会式では、『いけいけ西高』から始まり、どの競技も試合に勝つために一生懸命取り組む姿が見られ、盛り上がりを感じることができました。また、球技大会に向けて朝練をしたり、放課後に練習したりする生徒の姿が見られ、どの競技もレベルの高い戦いが見られました。最後には、勝利を喜ぶ生徒、勝ったチームに交じって一緒に盛り上がる生徒や拍手を贈る生徒の姿が見られ、球技大会は成功に終わることができました。

生徒会での初めてのイベントに臨むにあたって、生徒会では新しいことは行いませんでした。球技大会を終えて、生徒会ではたくさんの反省点ができました。その反省点は次にしっかりと活かそうと思っています。また、球技大会の朝練は7時40分からと決まっております、どの生徒もきちんと守ってくれたのでとても感謝しています。このように、これからもみなさんの支えが必要です。これから一年間よろしくお願いします。

今回の球技大会で得た様々な経験を活かし、これからより良い学校作りをして西大寺高校を盛り上げていきます。ありがとうございました。



2年生修学旅行

修学旅行

○ 関東コース

「最高の修学旅行」

普通科2年 梶原 大誠 (山南中出身)

四日間の修学旅行は、今まで味わったことのないものでした。四日間がこれほど早く過ぎたことはないと思えるくらい充実した四日間でした。

一日目のコース別研修ではNHKスタジオパークが印象に残っており、テレビで見るものを実際に見ることができたので感動しました。また、東京タワー、東京スカイツリーからの眺めは最高でした。二日目の自主研修は楽しただけでなく、とても良い社会勉強になりました。電車や駅構内での動きには不安しかなかった、迷いそうにもなりましたが、自分たちの力で一日を終えることができたのは良かったと思います。そして、最も濃い一日になった三日目のディズニーシー、疲労など全く感じることなく、素直に楽しかった。この一日は忘れられない一日だと思います。四日目のお台場、フジテレビを見学できたことが何より嬉しかった。岡山に帰るとなった時、まだ終わってほしくないと思底思ったし、まだまだこれからたくさんの学校行事があるけれど、僕の中では西高生活の中で一番の思い出は修学旅行ですと言えるくらい最高の修学旅行でした。

「あつという間の四日間」

普通科2年 西岡 恵 (旭東中出身)

修学旅行中の四日間は、普段できない体験がたくさんできました。一日目は選択したコース別の活動で、皇居、国会議事堂、サンシャイン水族館を回り、最後にスカイツリーに行きました。個人的な旅行だと皇居や国会議事堂に行くというのはあまりないことなので、貴重な時間を過ごせたと思います。二日目は班別自主研修で、班で事前にたてた計画をもとに都内を回りました。電車に乗ったり、街を歩いたりすると、人の多さや東京の都会さを改めて実感しました。三日目は東京ディズニーランドを満喫しました。二日目はものすごい雨でしたが、三日目は気にならない程度しか降らなかったのが良かったです。最終日の四日目は日本科学未来館、お台場を回りました。日本科学未来館では、今なにかと話題のアンドロイドが印象的でした。お台場では、フジテレビの番組で実際に使われている小道具やセットを見ることができました。この四日間は本当にあつという間でした。これからの高校生活もこんな風にあつという間に過ぎていくと思うと少しさみしい部分もありますが、最高の思い出ができて本当によかったです。



○ 北海道コース

「修学旅行前よりも成長した自分を見せる」

普通科2年 竹村 哲平 (備前中出身)

待ちに待った修学旅行も遂に終わってしまい、とても残念です。しかし、この四日間でたくさんの思い出ができました。北海道の自然や食べ物、名所を見て、美味しいものを食べて充実していました。さらに、今まで関わったことがなかった友達とも仲良くなれて、本当に笑顔が絶えない旅行になりました。自主研修や自然体験のフィッシングでは、自分も含めて皆が童心に戻ったようでした。

また、旅行中にトラブルがいくつかありましたが、仲間や班員達の協力もあり乗り越えることができ、また一つ成長できた気がします。今ではトラブルも良い思い出です。

今日から普段通りの学校生活のスタートですが、まだまだテストや秋桜祭、部活動などと高校生活は次々とイベントや試練がやってきます。ここでしっかり気持ちを切り換え、修学旅行前よりも成長した自分を見せていけたらと思います。

「かけがえない思い出」

商業科2年 風 萌江 (西大寺中出身)

四日間の修学旅行は、私にとってかけがえない思い出になりました。北海道に到着してすぐ、空気のきれいさに驚きました。どこを見ても緑があって、川をみると水が透明で、こんな所が本当にあるのだな...と思いました。

次の日の朝は四時半からきれいな朝日が見られて、毎日自然に感動させられました。北海道の人は、そんな北海道の姿に誇りを持っていて、だから大切にされて自然がきれいに保たれているのだらうと思います。岡山にもせっかくなささんの自然があるのだから大事にしていきたいなと思いました。

自主研修の日には小樽を中心に一日中歩き回りました。行きたいところ、有名なものを事前に調べていたので効率的に回れて良かったと思います。最後に道に迷って四分ほど遅刻してしまったことは反省していません。人生最後の修学旅行は本当に楽しかったです。こんな体験をさせてくれた親、先生方、一緒に行ってくれた友達に感謝しています。



○ グアムコース

「一步踏み出せた修学旅行」

普通科 2年 津野島 里紗 (操山中出身)

今回の修学旅行をとおして、現在のグアムの姿になるまでには、日本と同じように壮絶な過去を乗り越えてきたということが分かりました。島の人はとてもフレンドリーで、お店の人は結構な確率で日本語を喋っていたので驚きました。また、私の中でのグアムのイメージは南国の島くらいでしたが、観光地は思った以上にたくさんあって、とても楽しかったです。チャモロマーケットや班別自主研修では自分で考えて行動したり、班の人と協力しあうことも学びました。グアム大学では、グアムのダンスや楽しいゲームをとおして英語にふれることもできました。

たくさんの初めての体験ばかりで緊張したけれど、一步踏み出せた気がします。海外に行くたびに自分の世界が広がっていくことがとてもうれしいです。これからも自分の視野を広げて生活していきたいです。



地域一斉 地震・津波防災訓練

11月4日(水)3限に「地震を想定した安全確保の訓練」と「建物の倒壊・津波を想定した避難訓練」を全校で行いました。また、同時に、各クラスのHR委員は近隣の学校と地域住民の皆さんとともに防災訓練を行い、万一の場合に備え防災意識を高める学習をしました。生徒たちはやや緊張した面持ちで真剣に訓練に取り組んでいました。

